

町政を問う!

一般質問 全議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

関根清隆 議員

- 1 コロナ禍後の高齢者福祉について

大賀広史 議員

- 1 子育て支援（こども医療拡大・ファミリーサポート事業）
- 2 管理職職員の退職に伴う議会への要望の件

森 利夫 議員

- 1 町職員の職場環境等について
- 2 仮宿地域の企業誘致の方針について
- 3 北部地域活性化事業と地元対策事業について

日坂 和久 議員

- 1 災害時受援体制の整備について
- 2 生活ニーズに応じた交通体制（デマンドタクシーを含む）の確立について

石井 徹 議員

- 1 鳩山ニュータウン建築協定の現状と今後の進め方について
- 2 新たな大豆の特産品としての活用について

中山 明美 議員

- 1 男性トイレ個室にサニタリーボックスの設置を
- 2 ヤングケアラーの支援
- 3 自動販売機リサイクルボックス内の異物混入を減らし、リサイクル促進へ

小鷹 房義 議員

- 1 20代の転居指向について
- 2 デジタル図書館の導入について
- 3 食農教育について

小川 唯一 議員

- 1 どうなってるの?これって変ではないですか?
- 2 農業集落排水事業

野田小百合 議員

- 1 子どもへのコロナワクチン接種（5～11歳）について
- 2 学校給食について
- 3 ニュータウンのリニューアルについて

松浪健一郎 議員

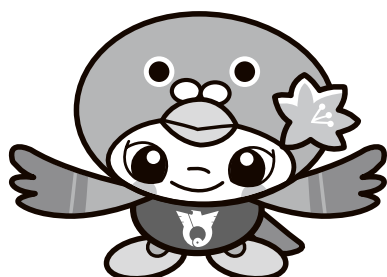
- 1 議員から見て、予算の無駄もしくは減額できる事案がみられる。内容の詳細を伺う

根岸富一郎 議員

- 1 みなし道路（建築基準法第42条第2項道路）の負担について
- 2 学校給食費値上げについて
- 3 動物愛護条例について
- 4 町のヤングケアラーについて

石井計次 議員

- 1 公園整備等について
- 2 マイナ保険証について
- 3 公有財産利活用について



関根 清隆 議員



幸福度1位にふさわしい高齢者福祉がとまどっているのか！

高齢者福祉

健康体操・社会参加・交通は

健康体操DVD、はとタク増、HP改良

問 コロナ禍で活動できなかった高齢者の体力低下が心配だ。健康体操は始めているのか。

答 5月の3週目から4会場を開始している。他者との距離確保のため、定員を設けて、コロナ禍以前の実施形態で再開している。

問 健康体操はDVDを作って配布すれば、誰でも自宅でき、健康体操のすそ野を広げられるが、DVDは令和2年に作成し、まだ残数があり希望者へ提供できる。

問 高齢者が運転免許証返納後、出かける上ではデマンドタクシー（はとタク）が頼りとなる。今後の需要拡大に向けて、どこまで対応可能か。

答 4月から4台体制で運行しており、十分余裕がある。循環バスが廃止されるので、今後、需要が増えても財政的に5台体制が可能。

問 埼玉医大だけでなく他自治体の病院へ、また、循環バスが無くなったので、スーパーへの定期便

などを、はとタクで行けるようにしてほしい。

答 他自治体の病院へは財政面で難しい。スーパーへは、通常のはとタクを個別にご利用願いたい。

問 スマホ教室、パソコン教室の実施は。

答 ふれセンで第2・3・4月曜日に、スマホ入門講座や相談会を実施中。

問 現在のHPは目的の情報へたどり着きにくいので、見直してほしい。

答 現在リニューアルに向け準備中。

問 テニスガーデンの駐車場は5台までと少ない増やせないか、またコート補修してほしい。

答 現駐車場西側の町有地利用を進める。補修時期でもあり、検討する。



テニスガーデンの駐車場

大賀 広史 議員



幸福度1位の職場環境へ！

職員アンケート

議会に結果の報告を

調査し、報告する

18歳まで医療費助成拡充

問 議会が要望してきた件だが、これまで執行部は否定的だった。なぜ年度途中で実施するのか。

答 検討を続けていたが、10月に県が全域で現物支給を開始するタイミングで拡充し、開始したい。

問 窓口払いがないと、気軽に打つるので、過剰受診が懸念されるが。

答 議員の指摘のように税金で助成するので、正しく受診していただけるよう、保護者への周知も考えていきたい。

職員の議会への要望

問 退職した管理職の職員が、職場環境改善と真相究明を議会に要望した。

町長・副町長の下で働くことに嫌気がさした、という理由についてどう捉えているか。

答 副町長として議会に心配をおかけしていることをお詫びする。改善すべき点は改善するが、正直、当惑している。

問 町長に聞くが、元職員の言っている、いじめや嫌がらせはあったのか。

答 そのような事実はない。令和2年度の給付金業務の際、当該職員に対し命令をした際、口調がきつくなったのは事実だが、業務は成功し、多くの職員に感謝を伝え、自分の中では解決している。

問 役場の雰囲気暗い職員に活気がないという話を町民からも聞く。幸福度ランキング1位の町で働く役場職員が、働き甲斐をもって働けるような職場環境改善を。

答 この件に限らず取り組んでいくつもりだ。

また、要望のあった職員に対する臨時アンケート等の調査結果を議会に報告させていただく。



風通しのよい町役場へ！

課長人事

新課長の選任方法は

副町長が案を作成し町長が決定



森 利夫 議員

なにを質問しても、建前上の答弁だけだ。事実を語れない環境なのか！

問 過去5年間の退職者の人数と退職理由は。

答 令和3年度末までの5年間で合計27人であり、定年退職14人、自己都合退職13人である。

問 今年度に入ってから退職したということか。

答 今年度に入ってから自己都合退職2人、非常に残念だが死亡退職1人である。

問 庁舎内に笑顔が少ない。覇気がなく重苦しいと感じるが原因はなにか。

答 コロナウイルス感染症や、不正事件の影響で暗い雰囲気になっっているのではと思う。

問 昇級試験と、新課長の選任方法は。

答 現在は、主任昇任試験のみ実施し、主任以上の職制試験は実施していない。新課長を選任する場合は、副町長が課長補佐の中から、数案を作成し町長が決定している。

問 町長と副町長だけで新課長を決めてしまったら、人材が偏らないか。

答 課長職として求められる資質を、総合的に判

断しているので偏らない。

問 本年5月に退職した会計管理者は、全協後の挨拶で、町長・副町長に対して強い不満を表明した。どう受け止め対処するのか。

答 事実関係を調査して改善すべき点は改善する。

問 区域指定を完了したばかりの、仮宿地域の建ぺい率と容積率を、政策会議で変更した理由は。

答 より有利な土地利用条件を整備し、企業誘致の実現をはかるため。

問 有利なのは分かるが、なぜ直ぐに変更するのか。

答 企業誘致という基本的な目標は変えていない。



3月に区域指定が完了した仮宿(かりやど)地域建ぺい率と容積率を変更

生活交通の確保

福祉型モビリティの研究・活用を

デマンドの補完として検討する



日坂 和久 議員

安心して運転免許返納ができる町にしましょう

災害時応援受け入れ体制

問 鳩山町で災害が発生した時には、町職員だけで対応できないため、他自治体や民間団体の応援が必要になる。応援に対する受け入れ体制整備はできているのか。

答 受け入れ体制整備はできていない。

問 受援計画策定の取り組みはいかがか。

答 早急に策定する。

生活ニーズに応じた交通体制の確立

問 (町外・土日運行を含む) 新デマンドタクシーの運行状況はいかがか。

答 町外・土日運行は、議員の意見で今年4月1日から開始した。利用者は増加傾向で、大きなトラブルもない。

問 この町外運行の手法で、につさい・北坂戸以外への町外運行は可能か。

答 他地域の交通事業者との競合・利害関係の調整等が問題だ。国の制度見直し等を注視して、今後調査・研究を続けていく。

自動車移動に頼らざるを得ない本町には、路線バスやデマンド等の公共交通だけでは、移動に自由な方が少なくない。公共交通と福祉関連のモビリティサービスを組み合わせ、生活に応じた交通体制の確立を提案する。

答 福祉有償運送・訪問型サービスD・地域助け合い型移動サービス・ファミリーサポート事業の送迎等の活用を考える。

問 生活ニーズに応じた移動支援の窓口一元化として、総合交通係の設置を提案する。

答 今後、検討する。



様々な移動支援がある(グリーンスローモビリティ)(国土交通省資料より)

石井 徹議員



将来にわたる良好な住環境の整備のために！

NT 建築協定

制度運営に様々な課題が

NT 住民全体の意向整理から

鳩山NTの建築協定の現状と今後の進め方

問 第1期の入居から約50年が経過し、居住者の高齢化や時代の変化等で様々な問題が起きており、近い将来に継続が厳しくなると推測できるが、見解を伺う。

答 「さまざま課題」が生じて来ていると考える。

問 主な課題として①31の次別協定委員会があり、一元で管理できない。②運営や基準の改定等に全世帯の同意が必要。③空き家や自主的な脱会を訴えている土地所有者の増加。④次別委員会の役割のなり手不足。等があり、今後の進め方として「再生」「廃止」「地区計画への移行等」が考えられるが見解を伺う。

答 どの方法を選択するにしても、既存の建築協定の良い点や、課題、制度移行に伴う地域住民の全体の意向を整理することが必要であり、その上で必要な助言や支援等をさせていただきます。



(株)良品計画、MUJIの大豆ミート

大豆ミートの取り組み

問 町の新たな特産品として、最近では環境改善や健康にも大きな貢献ができる食品として「大豆ミート」の商品開発他を提案するが、見解を伺う。

答 有望な食材と考えており、大豆特産品の一つとしてチャレンジしていきたい。

問 今後の市場性や生産量をどのように考えるか。

答 市場性は有望と考え、生産量も対応できる。

問 商品開発に、近隣大学へ協力依頼を考えられないか。

答 過去にも実績があり、更に進化した取り組みを考えたい。

中山 明美議員



自分の将来に希望が持てず苦しむことがないように

ヤングケアラー

横断的に取り組むことが必要では

まずは、共通認識を図ること

問 ヤングケアラーとは、どんな状況のことをいうのか。

答 本来、大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを、日常的に行っている子どものこと。

問 鳩山町は何人いると把握しているか。

答 令和3年9月現在で、11世帯14人。

問 相談窓口はどこか。

答 鳩山町総合相談支援窓口。学校等、保健センター、子育て支援担当とも協力しながら相談を受け付けている状況。

問 学校の取り組みは。

答 早期に発見して、実態を把握するとともに、支援し、適切な機関へつなげていくことが大切である。誰に相談していいかわからない等、孤立化しないよう支援していく必要がある。

問 横断的に取り組むことが必要では。

答 ヤングケアラーの状態にならざるを得ない家庭内の状況も勘案しながら、支援することが必要。



みんなでヤングケアラーを支える社会を目指して (厚生労働省)

一体的な支援を行うために、まずは支援者側の共通認識を図る必要がある。教育、保健、福祉が出席した教育委員会主催の就学支援委員会はもとより、庁内の重層的支援会議でも、共通認識を図っている。

学校と福祉が具体的な情報交換を行い、両サイドから支援を行うことを確認した。

ヤングケアラーの正しい知識を持っていただき、多くの方の気づきにより、今まで気づけなかった児童・生徒への支援へつなげていく体制を構築していく。



小鷹 房義 議員

すべての世代が
住みよい町に

若者の転居指向

若い世代を増やす政策は

子育て支援を中心に

問 鳩山町における若者の転居指向は。

答 生産年齢人口の割合は、総人口1万3千456人のうち48%で、埼玉県下で最も低い数字である。働く現役世代が少なく、若い世代を増やす施策が最重要である。

問 鳩山町の若い世代への政策は。

答 子育て支援を中心施策として、20代・30代の方の町への定住や移住などを目的に行っている。具体的には、共働き世代などのために保育園を整備・充実させて、待機児童ゼロを平成6年から継続している。

問 デマンド交通の現状はどうか。

答 民間事業者によるバス路線が3路線のみ走っているほか、公共交通対策としてデマンド、町営路線バス北部線の延伸、デマンドの土日運行、坂戸につきあい地区や北坂戸への町外運行も開始した。

問 デジタル図書館の導入に必要なコストは。

答 昨年12月1日から運

用を開始し、導入に必要なコストは、導入サービス料（初期導入経費）77万円。

クラウド利用料が12カ月で66万円、電子書籍料金が74万8千円の合計140万8千円が必要となる。

問 食農教育について、学校での取り組みを伺う。

答 食の大切さと自分で作る喜びを感じることができるよう、本町の子どもたちには地場産農産物を取り入れた給食や、子どもたち自身が野菜を育て収穫をすること、社会科の授業で農業について学習するなど、様々な取り組みを行っている。



町営路線バス北部線、越生駅まで乗り入れ

これって変では

スリッパ段ボール箱に入れっぱなし

消毒をして靴箱に並べている

問 町中で多く見かけるのぼり旗の管理は。

答 産業環境課が所管し「交通安全」及び「防犯」の啓発を目的としている。

問 取り付けたままでは、効果が薄くなると思うが。

答 視覚的に啓発を行うことのできるツールなので継続していく。

問 ガードレールに取り付けてあるが問題ないか。

答 道路管理者との協議により、設置は可能。

問 ガードレールの役目に、のぼり旗を取り付ける役目はないか。

答 設置してはいけないう、規制も確認できてない。

問 毎年、予算計上されている鎌倉街道上道除草作業とは、どこあたりか。

答 (株)良品計画鳩山センター西側、町道699号線で文化財、及び景観の保全を目的に除草作業をしている。

問 鎌倉街道上道の保全であるなら、もっと予算を取って除草作業を行うのが、町の仕事として自

然ではないか。

答 町の資源と捉え、町内外からの来訪者を増やしていきたい。

問 景観樹木とは町民に愛され、親しまれている樹木と定義されているが、町民はその場所を知っていると

思うか。

答 個人の宅地内にあるものもあるので、積極的な広報はしていない。

問 現在、何本指定されているか。

答 14本指定している。

問 保健センターのスリッパは、段ボール箱に入ればなしではないか。

答 使用済みのスリッパは消毒をして、靴箱に並べてある。



小川 唯一 議員

保健センターのスリッパ
消毒していますか？



鎌倉街道上道（かみつみち）

野田小百合 議員



あわてて接種しなくても大丈夫。よく考えてからね。

小児コロナワクチン

ワクチン接種が必要か疑問

リスク等も情報提供している

問 全国有志医師の会からの「要望書」の概要は、※全国有志医師の会は、医師、歯科医、獣医、医療従事者805人で構成。全自治体に対して要望書を送付。

答 小児コロナワクチン接種の即時中止。接種後の死亡例や重篤な副反応事例を保護者に周知徹底すること。接種現場では医師により、重篤な副反応についても、対象者や保護者が理解できるように説明し理解を得ること。接種券送付は、接種希望者のみに、の4点。

問 健康な子どもは、り患しても重症化せずに治癒し、免疫を得て育っていく。ワクチン接種が必要か疑問。デメリットも含めて情報提供を。

答 厚生労働省及び小児科学会から出されている情報は、Q&A方式で分かりやすい。町のホームページにも掲載し周知。

学校給食
問 食器の取り扱いに関する調理員、学校現場での現状は。

答 強化磁器のごはん茶碗、ペン食器（ポリエチレンナフタレート）の平皿、汁椀、麺類汁椀を採用。強化磁器とペン食器で重さが異なり、作業性の違いがある。強化磁器は割れるが、物を大切に扱う心を養える。

問 食器の更新は。
答 強化磁器は割れるまで使え、破損すれば買い足す。ペン食器は8年程度が更新の目安。更新が必要な場合には、これまでの経験等も参考にし、材質を検討する。

問 強化磁器のみを使用している自治体は。
答 毛呂山町、三芳町、寄居町。



ある日の給食、強化磁器のごはん茶碗とペン食器

松浪健一郎 議員



原本ないなら、改ざんと言われても仕方がない

シルバー人材センター

職員の就業規則の原本は

パソコンにも存在しない

問 リモートセンシング技術センター協働事業100万円の内容は。

答 課税作業を人工衛星の写真データ等と人工知能を活用して、課税客体の把握を行うもの。

問 無駄に感じる。補助金等はないか。

答 全額町負担。

問 シルバー人材センター予算530万円。決算書にある賃借料320万円とは。

答 事務室と駐車場等の利用料金。

問 会費41万円の使い道は。半分は公益目的に使用しなければいけない規定のはずだが。

答 わからない。

問 職員の就業規則の1ページ目と、2ページ目の字体が違う。2ページ目以降、改ざんしたのではないか。法律に照らして理解できない規則があったり、本来なら必要な規則が存在しない。原本はどこにあるのか。

答 改定の際に打ち直した。原本は存在しない。常識として、パソコンに保存してあるはずだが。

問 パソコンにもない。

答 シルバー人材センターの余剰金は。

答 約3300万円ある。

問 多額のお金が残っている印象を受ける。物価が上がってきている中、会員の時給や日当等の値上げに使ったと思うが。

答 町から話しをする。

問 毎年、町の税金が支払われている。独立した事業所なのは分かるが、就業規則、余剰金、給料の値上げ等、町が監視して指導、助言等して欲しいが。

答 町から助言はできても、実際に決めるのはシルバー人材センターだ。



字体が異なる就業規則



根岸富一郎議員

憲法どおりに
すればいい

学校給食

使い道を変えて無料に

財政状況等を考えながら努力したい

問 みなし道路（建築基準法第42条2項道路）の負担

答 みなし道路で拡幅計画のある場所は、何箇所あるか。

問 ない。

問 みなし道路は165本もあり、住みよいまちづくりの観点で、後退等の土地を買い取りできないか。

答 みなし道路を活用して家が建てられるので、現時点では所有者が負担する。

問 学校給食費値上げ反対

問 憲法で義務教育は無償と言われているにもかかわらず、父母負担がある。滑川町のように無償化できないか。

答 学校給食法に経費負担があり、国庫補助もないので、町財政に厳しい。

問 一般会計の使い道を変えて、無料にできないか。

答 国の交付金や町の財政状況を考えながら、努力したい。

問 動物愛護

問 動物愛護に関して、町の対応はどのようか。



学校給食値上げ反対

答 保健所や動物愛護センターへの情報共有、指導等に立ち会い、指導内容の把握、対応の報告など行っている。

問 坂戸では推進委員会などの活動がある。法や県条例はどうか。

答 「坂戸いきものがかり」は、必要と考える。法や県条例が変わった。当面、狂犬病の予防注射等の場を通じ、リーフレットなどを配布したい。

問 ヤングケアラー

問 特定の人が偏らないことなど重要だが、どのように対応しているか。

答 町は、長寿福祉課をはじめとした鳩山町、町社協で県の支援推進協議会の委員となり、支援を強化する。



石井 計次議員

資源を活かし
町に賑わいを！

公園整備

農村公園ジャブジャブ池等の整備を

池としての活用は難しい

問 ジャブジャブ池については再三、議会で取り上げている。費用面から池への揚水ポンプ、ろ過機のメンテナンスはされていない現在、水の無いカラ池状態。

答 公園の価値観、位置づけを伺う。

問 農村公園は、町民が豊かな自然に親しむ場であり、地域活性化を図る価値ある施設と認識している。

問 芝生広場を提案する。担当課として検討しているイメージを伺う。

答 議員の提案による芝生広場に整備するのが良いと考えている。今年度中に活用策を進める。

問 トロッコ公園の列車のリニューアルについて

問 トロッコ列車の錆がひどい。今まで塗装修繕をされたことはあるか。

答 設置されてから現在まで、塗装は行っていない。

問 町制施行40周年記念事業としての交付金対象に該当しないか伺う。



リニューアルが待たれるトロッコ列車

答 事業交付金として30万円を予定している。

問 公園の面積と位置づけを伺う。

答 列車が設置されている2駅、銀河ステーション、天の川ステーションの町有地319㎡。緑地との合計面積5855㎡となっている。公園としての位置づけはない。

問 この機会に、現状に合わせた管理区分を検討すべきと考えるがいかがか。

答 エリア全体の再確認と所管区分等について検討する。